

令和 7 年 度

若 手 教 員 研 修
(3 年 目 研 修)

研 修 の 手 引 き

福 井 県 教 育 委 員 会

勤務校	職名
氏名	

目 次

1	実施要項	1
2	授業実践研究	2
3	各研修の受講	2
4	提出書類等	4
	校外研修の記録・報告書	4
	諸届	4
	レポート	5
	○福井県教員育成指標	6

研修についての問合せ先

○福井県教育総合研究所 教職研修センター

TEL(0776)58-2160

E-mail kyouisyoku@pref.fukui.lg.jp

※メールによるお問い合わせの場合は、件名を「3年目研修問合せ」と表記してください。

○福井県特別支援教育センター

TEL(0776)53-6574

E-mail tokuse03@pref.fukui.lg.jp

○福井県教育庁嶺南教育事務所

TEL(0770)56-1302

1 実施要項

1 目的

専門的な教科指導力と授業力の向上を図るとともに、時代に即した教育課題に取り組み、変化への対応力を育む。

2 実施主体

福井県教育委員会

3 実施期間

令和7年度の1年間

4 対象者

- (1) 令和5年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教諭で、2年目研修を受講した者とする。ただし、養護教諭および栄養教諭は除く。
- (2) 当該年度に長期の休暇（休業）を取得することがすでに明らかな場合は、原則として休暇（休業）明けに受講すること。なお、年度途中で長期の休暇（休業）を取得することになった場合は、受講可能な研修を受講し、残りは休暇（休業）明けに受講することとする。いずれの場合も、休暇（休業）からの復帰時期によっては、翌年度の受講となる。

5 実施計画

コードNo.	育成指標分類	研修名（研修内容）	実施日時・会場等	備考
—	—	「令和の日本型学校教育」を担う 教師の学び 研修ガイダンス	下記3日のうち指定日に受講	
223	素養 生徒指導	学級運営② (個別の課題に対する理解と支援)	5月8日(木) 嶺南教育事務所	p. 2
251	学習指導	校種別研修	5月9日(金) 教育総合研究所	3
215	学習指導	授業実践研究Ⅳ (授業実践研究の深め方)	5月14日(水) 教育総合研究所 いずれも 9:30～16:00	参照
261b	素養 学習指導 特別な配慮や支援 ふくいの力	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目の クロスセッション)	【小・中・高等学校】 下記8日のうち1日選択 10月15日(水) 嶺南教育事務所 16日(木) 教育総合研究所 21日(火) あいばーく今立(越前市) 23日(木) 教育総合研究所 29日(水) 教育総合研究所 30日(木) 嶺南教育事務所 11月6日(木) 教育総合研究所 7日(金) 教育総合研究所 【特別支援学校】 下記3日のうち1日選択 10月30日(木) 特別支援教育センター 11月6日(木) 特別支援教育センター 13日(木) 特別支援教育センター いずれも 13:30～16:30	p. 2 2 3 参照
262	素養 学習指導 特別な配慮や支援 ふくいの力	教育実践研究の共有 (初任者・3年目・中堅の クロスセッション)	下記6日のうち1日選択 1月22日(木) 教育総合研究所 23日(金) 嶺南教育事務所 27日(火) 教育総合研究所 29日(木) あいばーく今立(越前市) 2月4日(水) 教育総合研究所 5日(木) 教育総合研究所 いずれも 13:30～16:30	p. 2 2 3 参照
G213	生徒指導	通信型研修 「学級づくりシリーズⅢ」	8月22日(金) までに受講	p. 3 参照
G230	素養	通信型研修「人権教育」	9月19日(金) までに受講	p. 3 参照

2 授業実践研究

授業力向上のためには実践と省察を継続して行う必要がある。3年目研修では、初任から取り組んできた授業実践研究を継続し、若手教員研修3年間の集大成とすることを研修の軸とする。

1 授業実践研究Ⅳ コード No. 215（5月）

校種や教科に合わせたグループ構成とし、「授業実践研究の概要」をもとに今年度の授業実践研究の深め方について協議する。

2 授業実践研究の共有（初任者・2年目・3年目のクロスセッション）コード No. 261b（10、11月）、教育実践研究の共有（初任者・3年目・中堅のクロスセッション）コード No. 262（1、2月）

初任者・2年目・3年目のクロスセッション

「授業実践研究（中間報告）」をもとに校種や教科に合わせたグループ協議を通じて、専門的な力量を形成する。

初任者・3年目・中堅のクロスセッション

「授業実践研究（最終報告）」をもとに校種や教科を超えたグループ協議を通じて、他者の視点を意識し、視野を広げる。

3 各研修の受講

〔研修資料のダウンロード〕

研修資料は、研修日の2日前から教育総合研究所ホームページ→「P l a n t」→「研修申込状況」→「【3年目研修】令和7年度3年目研修」→「ダウンロードファイル一覧」よりダウンロードが可能となる。当日は、印刷して持参するか、各自の端末で閲覧できるようにしておく。

※ 詳しくは「P l a n t」TOP画面の「お知らせ通知受信一覧」にある「研修に際して」を参照。

1 学級経営②、校種別研修、授業実践研究Ⅳ（コード No. 223、251、215）

(1) 期日・会場

嶺南小・中学校勤務者	5月 8日（木）	嶺南教育事務所
嶺北中学校、高等学校、特別支援学校勤務者	5月 9日（金）	教育総合研究所
嶺北小学校勤務者	5月 14日（水）	教育総合研究所

(2) 当日の日程

受付 9:00～9:20 研修 9:30～16:00

(3) 当日の準備物

- ・若手教員研修（3年目研修）の手引き
- ・レポート「授業実践研究の概要」7部（両面印刷）
- ・名札
- ・学級運営指導書「通うのが楽しい学級づくり」
- ・「令和6年度 2年目研修 教育実践研究 最終報告レポート集」（特別支援学校勤務者のみ）

(4) 授業実践研究に関する調査

グループ協議の班編制のため、担当学年等について次のURLまたは二次元コードから回答すること。

〔URL〕 <https://forms.office.com/r/v4f3L6KPph>

【回答締切】令和7年4月21日（月）



2 授業実践研究の共有（初任者・2年目・3年目のクロスセッション）コード No. 261b（10、11月）、教育実践研究の共有（初任者・3年目・中堅のクロスセッション）コード No. 262（1、2月）

(1) 当日の日程

受付 13:00～13:20 研修 13:30～16:30

(2) 当日の準備物

No. 261b：レポート「授業実践研究（中間報告）」7部、内履き（あいぱーく今立のみ）

No. 262：レポート「授業実践研究（最終報告）」7部、内履き（あいぱーく今立のみ）

(3) 受講希望日の調査

①No. 261b の受講希望日（第1希望～第3希望）について、次のURLまたは二次元コードから回答すること。（事前に行事予定を確認し、管理職と相談すること。）

〔URL〕 <https://forms.office.com/r/TAWkD4Tuu5>



【回答締切】 令和7年5月30日（金）

なお、受講決定日は、教育総合研究所から別途文書で通知する。

②No. 262 の受講希望日（第1希望～第3希望）について、次のURLまたは二次元コードから回答すること。（事前に行事予定を確認し、管理職と相談すること。）

〔URL〕 <https://forms.office.com/r/wjX9dv4wi8>



【回答締切】 令和7年10月17日（金）

なお、受講決定日は、教育総合研究所から別途文書で通知する。

3 通信型研修（コードNo. G213、G230）

教育総合研究所ホームページ「P l a n t」→「研修申込状況」→「【3年目研修】令和7年度3年目研修」より以下の動画を視聴する。視聴後は「校外研修の記録・報告書」（様式4）の【概要・感想・成果の活用等】に振り返りを入力する。（「P l a n t」での振り返りの入力は不要）

コードNo.	内容（講座タイトル）	配信開始日	受講期限	備考
G213	「学級づくりシリーズⅢ」	4月1日（火）	8月22日（金）	・「P l a n t」 「【3年目研修】」→「動画一覧」より視聴する。
G230	「人権教育」	8月下旬	9月19日（金）	・「P l a n t」→「【3年目研修】」→「URL」より視聴する。 ・受講後、「P l a n t」→「【3年目研修】」→「テスト一覧」→「G230 人権教育テスト」を受けて完了となる。

※ 通信型研修 G230「人権教育」については、視聴可能となる日時を「P l a n t」の「お知らせ通知受信一覧」にて通知する。

※ 受講方法の詳細は「P l a n t」TOP画面の「お知らせ通知受信一覧」にある「研修に際して」を参照。

4 提出書類等

1 校外研修の記録・報告書（様式4）

様式は教育総合研究所ホームページ「教員研修」→「基本研修、職務研修」→「3年目研修」からダウンロードして作成し、提出する。（作成したものは必ず管理職と共有すること。）

(1) 「校外研修の記録・報告書」の作成

毎回の研修終了後に受講日および会場、概要・感想・成果の活用等を入力する。

通信型研修は、受講後に受講日および概要・感想・成果の活用等を入力する。

※ 受講の方法や期限は p. 3 「3 通信型研修」を参照。

(2) 提出方法

1 年間の研修終了後、下記〔提出経路〕に従いデータを管理職を通じてメールにて提出する。

※ 延期願を提出した研修については、該当研修の欄に「次年度に延期」と入力する。

※ 年度途中で研修を受講できなくなった場合は、その時点での記録・報告書を提出する。

ファイル形式：PDF

ファイル名：【勤務校略称_氏名（フルネーム）】3年目研_記録・報告書

締切：市町小・中学校・・・・・・・・・・令和8年2月27日（金）

高等学校、県立中学校・・・・・・・・・・令和8年3月6日（金）

特別支援学校・・・・・・・・・・令和8年2月27日（金）

2 諸届

次のものは、事前に管理職を通じて担当機関に問い合わせた上で、必要に応じて校長が作成し、下記の提出経路に従ってデータをメールにて提出する。様式は、教育総合研究所ホームページ「教員研修」→「欠席届、延期願」よりダウンロードする。提出時のファイル形式はPDFとする。

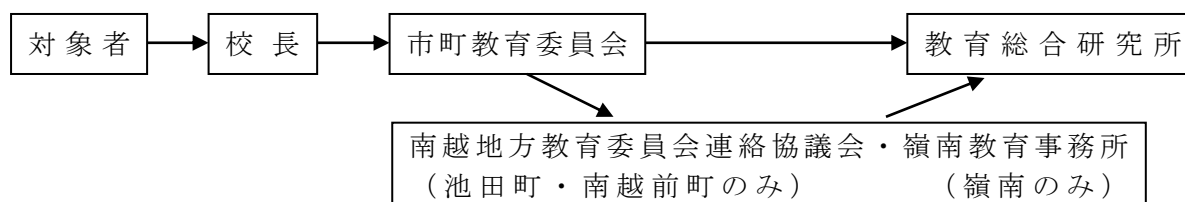
「欠席届」（共通様式1）・・・・年度内に代替研修の受講が可能な場合

「延期願」（共通様式2）・・・・受講が次年度以降になる場合

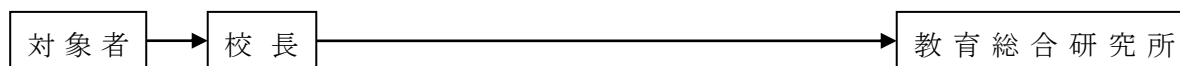
※ 特別支援教育センターに提出する場合は、宛名に「特別支援教育センター所長」も併記する。

〔提出経路〕

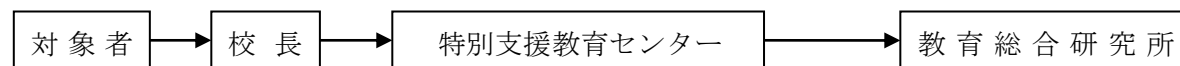
○ 市町小・中学校



○ 高等学校、県立中学校



○ 特別支援学校



教育総合研究所 教職研修センター	E-mail	kyousyoku@pref.fukui.lg.jp
特別支援教育センター	E-mail	tokuse03@pref.fukui.lg.jp

※ メール送信の際は、件名に「3年目研修」を表記してください。

(例) 「3年目研修」欠席届【福井小_春江太郎】

3 レポート

様式は、教育総合研究所ホームページ「教員研修」→「基本研修、職務研修」→「3年目研修」よりダウンロードする。

- (1) 「授業実践研究の概要」（様式1）A4判たて、1ページ程度

コードNo.215のグループ協議時に、7部持参し、5月30日（金）までに下記のとおり提出する。

〈提出方法〉

教育総合研究所ホームページ「P l a n t」→「研修申込状況」→「【3年目研修】令和7年度3年目研修」→「課題・アンケート一覧」から提出する。

※ 詳しくは「P l a n t」TOP画面の「お知らせ通知受信一覧」にある「研修に際して」を参照。

ファイル形式：PDF

ファイル名：【勤務校略称_氏名（フルネーム）】概要

（例）【福井小_春江太郎】概要

- (2) 「授業実践研究（中間報告）」（様式2）A4判たて、2ページ程度

10月3日（金）までに(1)と同様の提出方法で提出する。

ファイル形式：PDF

ファイル名：【勤務校略称_氏名（フルネーム）】中間報告

コードNo.261b（10、11月クロスセッション）の際に7部持参する。

- (3) 「授業実践研究（最終報告）」（様式3）A4判たて、3～5ページ

コードNo.262（1、2月クロスセッション）の際に7部持参する。

1、2月クロスセッション受講後、一週間以内に(1)と同様の提出方法で提出する。

ファイル形式：PDF

ファイル名：【勤務校略称_氏名（フルネーム）】最終報告

○個性を養い、自らが思い描く人生を切り拓くために挑戦し続ける人

○多様な人々の存在を認め、協働して新たな価値を生み出す人

○ふるさとや自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人

福井が求める教師像

●校種・教科等に関する専門的知識・実践的技能を持った人

●子どもたちとよく、同僚や家庭、地域社会と円滑な人間関係を築き、課題に対して臨機応変に対応できる人

●専門分野に備らない幅広い教養を身に付け、自立した社会人としての良識や幅広い視野を持った人

●教育に対する情熱・使命感に燃え、常に学び続ける向上心を持った人

福井県教員育成指標

教諭		第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
福井県が求める採用時の姿		中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する	経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする	
素 養	教育的愛情 使命感 責任感	子どものウェルビーイングを高め、豊かな人間性を育む熱意 ・持続可能な社会の創り手を育成する使命感、責任感 ・子どもの命を守る安全教育・危機管理の理解		
	倫理観 人間性 社会性	・服務規律・法令の理解と遵守 ・確かな人権意識と豊かな人間性 ・多様性への理解と円滑なコミュニケーションによる良好な人間関係の構築		
	学び続ける力 探求心	・学校現場の実態や教育改革の動向の把握、社会の変化を前向きに受け止めよりよい教育活動を模索する態度 ・自らの実践を省察し、探究心をもつて挑戦し続ける姿勢 ・学びの機会への積極的参加による新しい知識や多様な価値観の獲得と得意分野や強みの伸長		
	業務改善	・効率的な時間管理に対する意識	・精選・改善・創意工夫による効果的・効率的な業務遂行と勤務時間の適正な管理 ・心身の健康、モチベーションを高めるワーク・ライフ・バランスの実現	・支え合い・高め合う同僚性の構築、学び合う文化の醸成 ・OJTや校内研修の助言、若手教員への主体的な参画
	同僚性	・支え合い・高め合う同僚性への理解 ・OJTや校内研修の意義の理解	・協働的活動への積極的参加による同僚性文化の醸成 ・組織における自らの役割の理解と行動	
学 習 指 導	連携・協働	・子どもや保護者と教職員の相互理解の重要性の理解 ・学校内外の多様な人々との連携・協働、関係機関との連携を通じた課題解決への姿勢		
	教科等の専門性	・主体的・対話的で深い学びへの理解 ・子どもの資質・能力の育成に資する教科等に関する専門性	・教科等の見方・考え方を働かせた主体的・対話的で深い学びの実現 ・教科等に関する専門性の向上と学習者中心の授業の創造	
	授業力	・子どもの多様な特性や学習状況に応じた授業展開への理解 ・子どもや保護者の一体性に基づく授業改善、指導と評価の両立 ・探究的な学習の過程に即した学習活動・授業改善への理解	・子どもの学びを見取り、引き出し、つなぐ、フアンテーション力 ・省察の実践サイクルの構築による探究的な学びの推進と授業実践力の向上 ・学校の美観に応じた教科横断的な視点での教育課程の評価・改善 ・社会や地域とつなげた特色ある教育活動の提案	・子どもの主体性を尊重し、子ども同士の考えをつなぎ、子どもとともに作り上げる授業の工夫 ・省察と対話による授業実践力の向上、継続的な授業改善を牽引 ・学校の実態に応じた教科横断的な視点での組織的な教育活動を牽引 ・社会や地域とつなげる教育資源の開発・活用
	カリキュラム・マネジメント	・構造的・総合的な学習で育成される子どもの資質・能力の理解 ・社会や地域となつた教育活動への参画理解	・学校の教育目標の把握とめざす子ども像を意識した授業づくり ・社会や地域となつた教育活動への参画	
	子どもの発達を支える働きかけ	・子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ・認め合い・励まし合い支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解	・子ども一人ひとりの共感の理解とよさや可能性を伸ばせる相互扶助的で共感的な人間関係の育成と集団づくり ・子ども一人ひとりの自己実現やキャリアデザインの育成を目指す教育活動の充実	
生 徒 指 導	課題の未然防止・早期発見 困難課題への対応	・課題未然防止教育の理解 ・子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	・課題未然防止教育に関する学校の方針の理解と実践 ・子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の姿勢	・変動する社会状況や子どもの心理状態的確な把握と個別の実態に応じた援助・指導 ・一人ひとりの子どもに対する一貫性のある連携体制の整備と取組の推進
	全ての子ども・安全・安心な居場所づくり	・子どもの多様な背景と学習上・生活上の困難への配慮の理解	・子ども一人ひとりの特性等とよさや可能性を認め合い支え合う安全・安心な風土の醸成 ・子ども一人ひとりの特性等と共感的な関わり、学習上・生活上のつまづきや困難の早期発見と適切な援助・指導	
特 別 な 支 援 配 慮 や	特別支援教育に関する専門性	・特別支援教育や障がいの特性、合理的配慮への理解 ・障がいに応じた支援に関する基本的知識の提供	・特別支援教育に関する最新の知識の習得 ・個別の教育支援計画等に基づいた連続性のある支援、保護者や関係機関との連携	・学校を取り巻く環境や特別支援教育に関する課題の把握と組織的な支援の調整
	子どもの情報活用能力の育成	・子どもの情報活用能力育成の重要性の理解	・個別最適化学び・協働的な学びによる子どもの問題発見・解決力・自己調整力の育成	
の I C 利 用 等	活用指導力の向上と教育活動の充実	・ICTに関する基礎的な技能の習得 ・学校におけるデータ活用の意義の理解	・ICT活用指導力の向上とICTの特性や強みを活かした多様な学習形態や専門性の高い教育活動の実現 ・学習履歴や健康上・生徒指導上のデータ等の蓄積・利活用による学習支援・校務の効率化	
	引き出す教育・楽しむ教育	・福井の教育の特長の理解	・子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」の推進	・子どもが探究心をもち、学びを「楽しむ教育」を進めるための教育活動の工夫
ふ く い の 力	「ふるさと福井」の教育	・福井の産業・歴史・文化等への理解	・ふるさとへの理解を深め、継承発展しようとする子どもの育成	・子ども自身の「やりたいこと」と「福井の未来」を探究する学びの推進
	福井の教育の継承	・福井の教育をよりよくしていく心と態度	・幼・小・中・高の円滑な学びの接続による教育の推進	・学校内外の世代間交流や校種間交流による

※ 資質・能力に関する6つの観点「素養」「学習指導」「生徒指導」「ICT等の利活用」「ふくい力」は相互に関連し合っている。

管理職	資質・能力に関する観点		学校経営者としての専門性
	教育者としての資質	教育活動の推進	
素 養	教育者としての資質	・教育者としての素養を磨き、教職に関する見識を高める姿勢 ・学校教育の持続的改善に向けた保護者や地域、関係機関との信頼関係の構築	
	マネジメント能力	・明確な教育理念、状況に応じた的確な判断、迅速で合理的な決断 ・学校教育を取り巻く環境の変化への適応 ・教育資源の開発・活用	
	アセスメント能力	・内外環境に関する情報の収集・整理、データや理論に基づいた分析、関係者との共有 ・多様な人材の能力や特徴、価値観の理解と公正な評価	
	ファシリテーション能力	・多様な専門性等を有する人材が円滑にコミュニケーションを取れる心理的安全性の確保 ・保護者や地域、関係機関や産業界等との折衝、協働による相互作用の促進	
	経営方針提示	・学校の置かれた状況や教育課題の把握と明確な経営ビジョンの提示 ・経営ビジョンの教職員との共有、地域や保護者への発信による連携、協働の促進	
学 校 経 営 者 と し て の 専 門 性	教育活動の推進	・教育課程および教育活動の評価・改善と組織的な学校運営に際する時と場合もある学校づくり ・多様な子どもに対する個別最適な支援の工夫、多様な教育的ニーズへの組織的対応	
	組織づくり	・目標達成に向けた業務分掌の設計、教職員の適性を生かした業務分担、役割の明確化 ・多様な専門性等を有する人材が強み等を生かして連携・協働できる体制構築の工夫 ・教師同士の学び合いを促進する環境整備・雰囲気づくり	
	働きがいと働きやすさの両立	・業務の適正化と勤務時間管理による子どもと向き合う時間の確保と教育者としての幸福意識の向上 ・教職員のメンタルヘルス対策と労働安全衛生管理の充実、ワーク・ライフ・バランスの推進	
	人材育成	・教職員の自律的な成長や中核となる人材の育成を意識した業務の割り当て、適正な評価と指導・助言 ・教職員の自律的な学びを促す校内研修の推進 ・対話に基づき教職員の意欲喚起とキャリアパスへの助言、一人一人に応じた研修等の受講奨励	
	学校安全・危機管理	・服務規律・法令遵守の教職員への啓発と徹底 ・様々な危機に対する未然防止策の策定による組織体制の整備 ・保護者・地域・関係機関との協力関係の構築	
財務管理		・学校経営方針に基づく予算編成と執行による教育環境の整備・充実 ・事務職員の連携した組織的で適正な執行管理	

管理職

教育者としての資質

マネジメント能力

アセスメント能力

フシリテーション能力

経営方針提示

教育活動の推進

組織づくり

働きがいと働きやすさの両立

人材育成

学校安全・危機管理

財務管理

トプリーダーとして
教育活動を推進する

・教育者としての素養を磨き、教職に関する見識を高める姿勢

・学校教育の持続的改善に向けた保護者や地域、関係機関との信頼関係の構築

・明確な教育理念、状況に応じた的確な判断、迅速で合理的な決断

・学校教育を取り巻く環境の変化への適応

・教育資源の開発・活用

・内外環境に関する情報の収集・整理、データや理論に基づいた分析、関係者との共有

・多様な人材の能力や特徴、価値観の理解と公正な評価

・多様な専門性等を有する人材が円滑にコミュニケーションを取れる心理的安全性の確保

・保護者や地域、関係機関や産業界等との折衝・協働による相互作用の促進

・学校の置かれた状況や教育課題の把握と明確な経営ビジョンの提示

・経営ビジョンの教職員との共有、地域や保護者への発信による連携・協働の促進

・教育課程および教育活動の評価・改善と組織的な学校運営による特色ある学校づくり

・多様な子どもにも対する個別最適な支援の工夫、多様な教育ニーズへの組織的対応

・目標達成に向けた適切な校務分掌の設計、教職員の適性を生かした業務分担、役割の明確化

・多様な専門性等を有する人材が強み等を生かして連携・協働できる体制構築の工夫

・教師同士の学び合いを促進する環境整備・雰囲気づくり

・業務の適正化と勤務時間管理による子どもと向き合う時間の確保と教育者としての幸福感の向上

・教職員のメンタルヘルス対策と労働安全衛生管理の充実、ワーク・ライフ・バランスの推進

・教職員の自律的な成長や中学校となる人材の育成を意識した業務の割り当て、適正な評価と指導・助言

・教職員の自律的な学びを促す校内研修の推進

・対話に基づく教職員の意欲喚起とキャリアパスへの助言、一人一人に応じた研修等の受講奨励

・服務規律・法令遵守の教職員への啓発と徹底

・様々な危機に對する未然防止策の策定による組織体制の整備

・保護者・地域、関係機関との協力関係の構築

・学校経営方針に基づき予算編成と執行による教育環境の整備・充実

・事務職員と連携した組織的で適正な執行管理